

1/2 超音波内視鏡 EB-710US 準備と点検

FUJIFILM
www.fujifilm.com

重要: このクイックリファレンスガイド (QRG) では、超音波内視鏡 EB-710US の準備と点検に必要な手順の簡単な概要を説明します。

詳しい手順については、取扱説明書 (操作編) を参照してください。

⚠️ **警告:** 点検で故障が見つかった場合は、使用を中止して営業所またはお買い上げの代理店のサービス窓口にお問い合わせください。

⚠️ すべての手順を実行する必要がありますが、赤枠で囲まれた手順が非常に重要です。



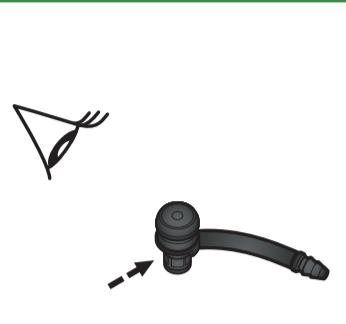
参照:
第4章

A. 関連機器を準備する



内視鏡、超音波接続ケーブル、吸引ボタン、鉗子栓を準備し、運搬します。

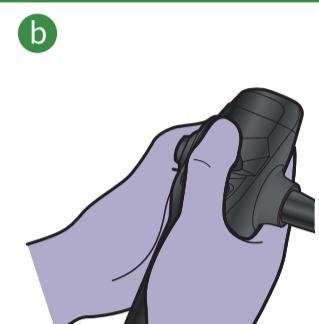
B. 吸引ボタンを取り付ける



吸引ボタンに損傷がないことを確認します。

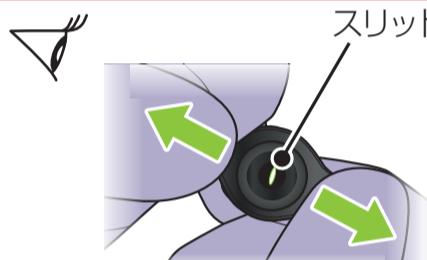
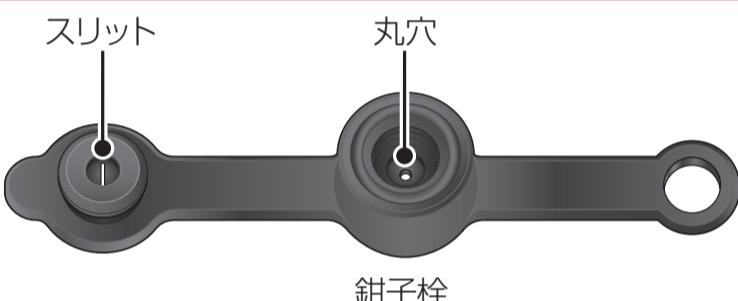


a 吸引シリンダーの溝部と吸引ボタンの吸引コネクター部の向きを合わせます。



b 突き当たる位置まで吸引ボタンを両手で押し込みます。

C. 鉗子栓を点検する



スリットと丸穴に損傷がないことを確認します。

⚠️ **警告:** • 鉗子栓は、使用する前にリプロセスを行ってください。リプロセスが不適切な鉗子栓を使用した場合、感染の原因となるおそれがあります。
• 吸引ボタンと鉗子栓は、再使用禁止の製品です。使用後は廃棄してください。廃棄せず再使用すると、感染の原因となるおそれがあります。

D. 鉗子栓を取り付ける

FOV-BU1



a リングの部分を鉗子口に引っ掛けます。



b 鉗子栓本体をかぶせます。



c フタを閉めます。

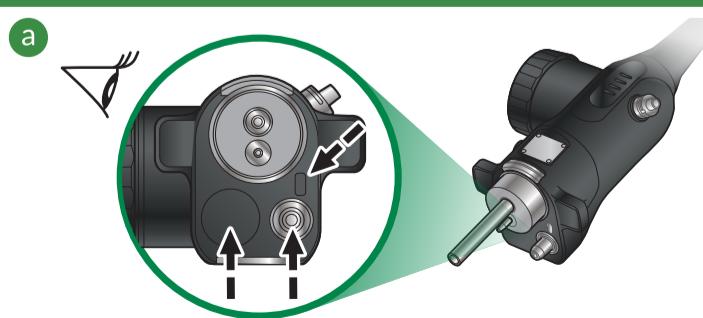
FV-003 (別売品)



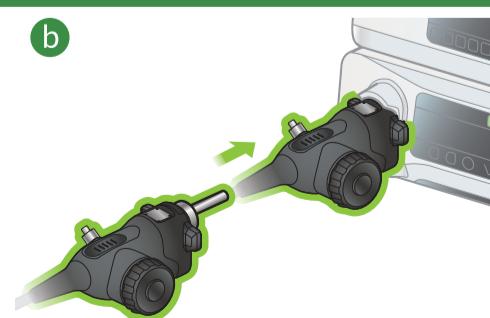
鉗子栓に損傷がないことを確認し、取り付けます。



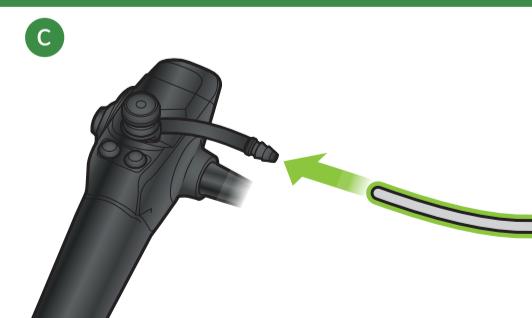
E. 内視鏡と光源装置および関連機器を接続する



a スコープコネクターに水分や異物がないことを確認します。

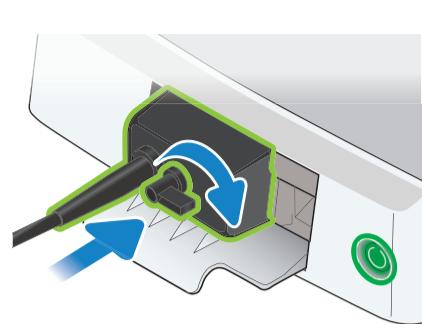


b スコープコネクターを光源装置に接続します。

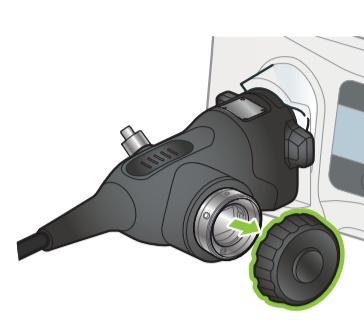


c 吸引チューブを取り付けます。

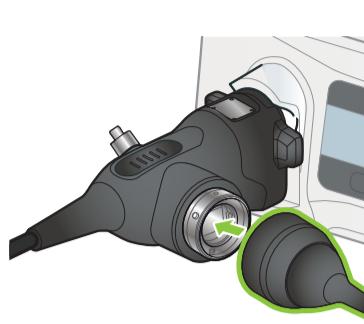
E. 内視鏡と光源装置および関連機器を接続する（続き）



超音波接続ケーブルの観測装置側コネクターを取り付けます。



防水キャップを取り外します。



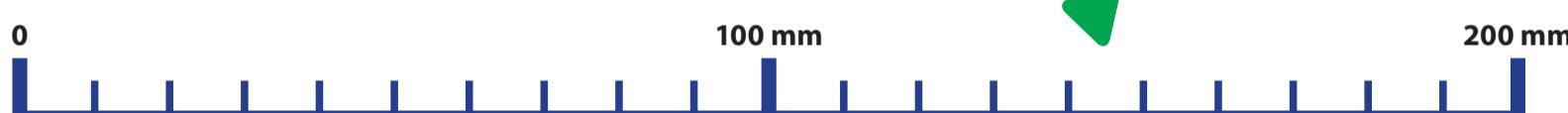
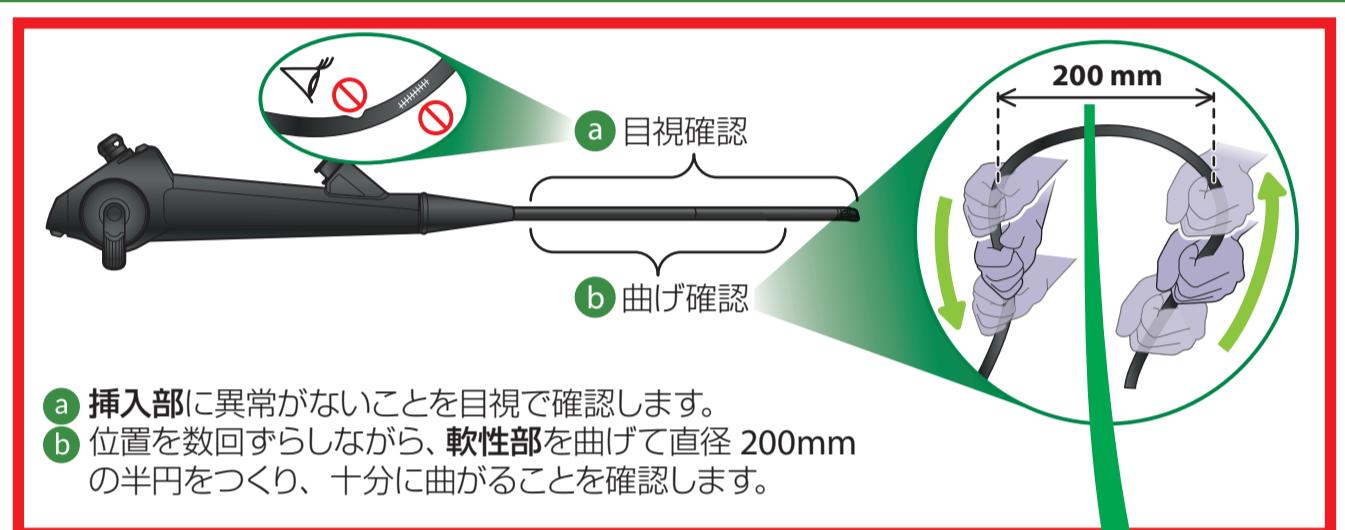
超音波接続ケーブルのスコープ側コネクターを取り付けます。

F. 先端部を点検する

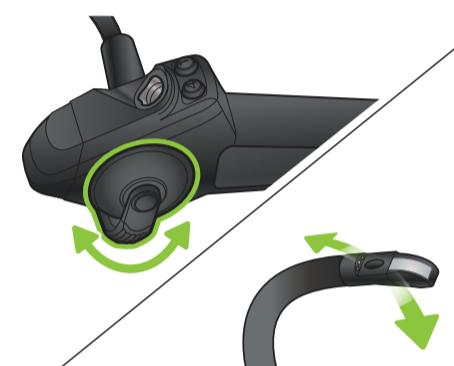


先端部、わん曲部（両端の樹脂含む）に損傷や異物がないことを確認します。

G. 軟性部を点検する

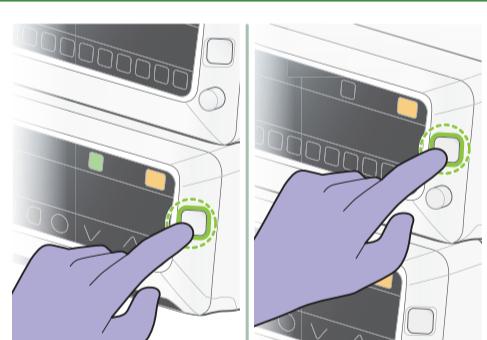


H. わん曲操作を点検する



アングルレバーを操作し、わん曲部が上下に動くことを確認します。

I. 内視鏡の機能を点検する



光源装置の電源を入れます。



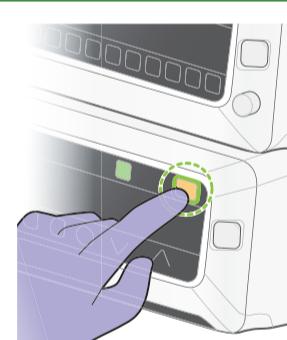
プロセッサーの電源を入れます。

- 吸引ボタンを押し込みます。
- 滅菌水が吸引されることを確認します。

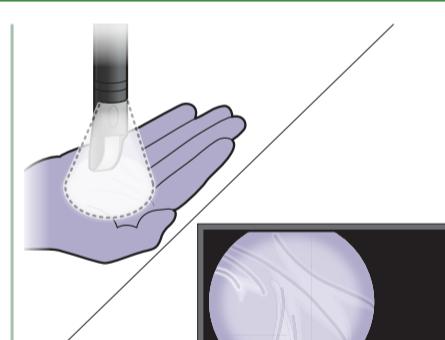


- 吸引ボタンから指を離します。
- 吸引が止まることを確認します。

J. 内視鏡画像と超音波画像を点検する



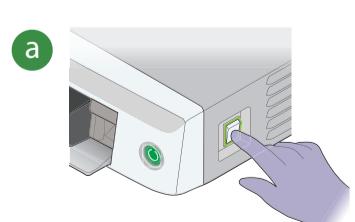
光源装置のライトを点けます。



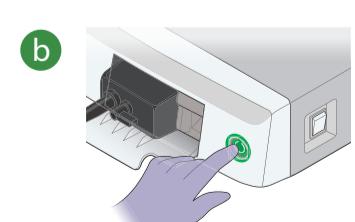
対物レンズを手のひらに向けてモニターで画像を確認します。

△ 注意：吸引圧は、40～53kPaに設定してください。吸引圧が高すぎると、内視鏡が吸着して、粘膜が損傷するおそれがあります。
△ レンズを点検する時は、光源のライトを消してください。ライトガイドの光を直視すると、目の障害の原因となるおそれがあります。

J. 内視鏡画像と超音波画像を点検する（続き）



a 超音波観測装置のACスイッチを入れします。



b 超音波観測装置のスタンバイスイッチを押して、電源を入れます。



[FREEZE]キーを押して、フリーズを解除します。



超音波画像に異常がないことを確認します。